

川上眉山 （おつかみ） 小説家。明治二年二月五日大阪生れ、四十一年六月

十五日歿（八六九一九〇八）。本名亮、幼名幾太郎。筆名一命之助、亮、

魂瀧堂克辨、岩川亮季（巖谷小波合同名）、御存じ、梅枝田夫、澤村

眉山、烟波散人、烟波生、煙波山人、煙波散人、玄雪、白羅、眉山人、

紅葉亭、蠶子等。帝國大學文科大學中退。在學中より創作活動。明治

十九年視友社同人。俳文、戯文の長じ、隨筆「ふところ日記」は明治

卅年指り名文。自裁。『眉山全集』全七巻（明治四十一年春陽堂）二巻、

博文館四巻）刊。

著書『萩桔梗』（若葉庵）、『袖頭巾』（若葉庵）、『眉山人名、漣山人合著、明治二十五年十

二月、二十一年春陽堂）、『奥さま』（奥）（う）（貝）（う）（様）』（同、明治二十五年六

月、二十一年博文館）、『創作苦心談』（合著・新聲社編、明治二十四

年二月五日新聲社）、『ふところ日記』（明治二十四年九月十五日新

聲社）、『觀音石』（上下合巻・明治四十一年五月五日高有倫堂）、

『眉山美文集』（石橋忠実校、大正元年九月七日博文館）、『ふところ

日記』（大正六年九月十日新潮社「代表的名作選集」）、『觀音石』

全二冊（前篇・昭和二年十月十日、後篇・十一月、千白岩波書店「岩

波文庫」）等。